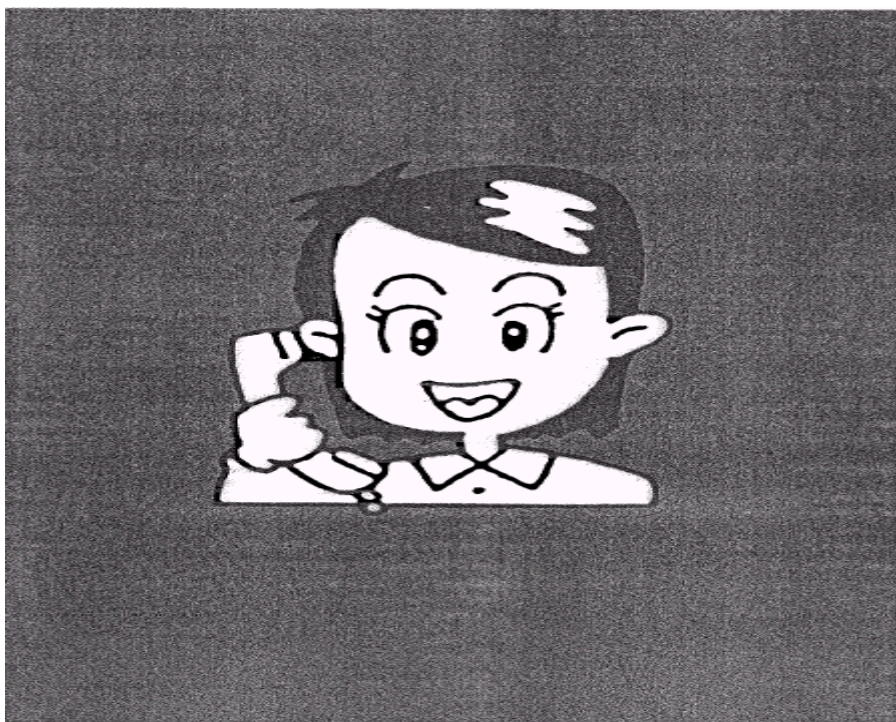


日立マルチコミュニケーションシステム ET - Giシリーズ



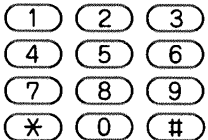
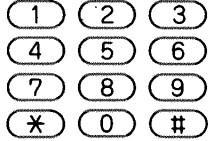
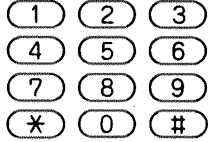
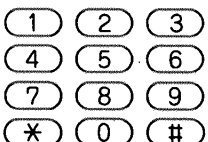


日時登録・短縮ダイヤル 登録説明書 ダウンロード版

- ・この説明書は、「取扱説明書」の内容から、短縮ダイヤル登録、日付・時刻修正について抜粋したダウンロード版の説明書です。
- ・内容をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、大切に保管しいつでも見られる場所に置いてお使いください。



3. カレンダーの設定

年、月、日、曜日、時、分を設定できます。

年、月、日、曜日の設定	データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
				
				
				
				
				
				
				
				

3. カレンダーの設定

時計の調整

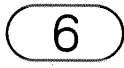
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマキー	オプション
-	-	-	-



- ① 送受器を置いたまま **i** ボタンを押します。
(**スピーカ**ランプも消えていること。)



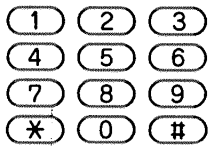
i ランプが点灯します。



- ② **6** ボタンを押します。



i ランプが遅い点滅になります。



- ③ 時 (2桁で24時間制) と、分 (2桁) を押します。



- ④ **保留** ボタンを押します。



i ランプが早い点滅になります。



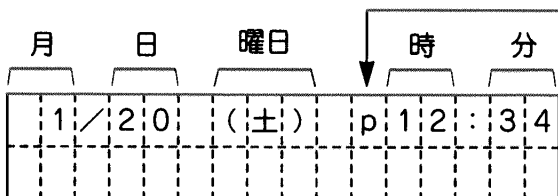
- ⑤ **i** ボタンを押します。



i ランプが消えます。

補足説明

- 設定後は下記の表示 (例) となります。



p : PMを表します。
表示なし : AMを表します。

5. 外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

相手の電話番号を2桁又は3桁の番号に登録することができます。システム短縮に登録するときは、指定電話機より行ないます。電話機短縮に登録するときは、各電話機で行ないます。

短縮ダイヤルに登録するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
108	0 (システム短縮)	-	-

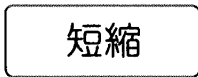
登録するとき



- 1 送受器を置いたまま **i** ボタンを押します。
(**スピーカ**ランプも消えていること)



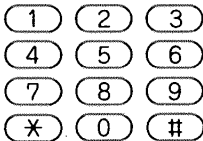
i ランプが点灯します。



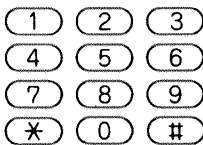
- 2 **短縮** ボタンを押します。



i ランプが遅い点滅となります。



- 3 短縮番号 (2桁又は3桁) を押します。



- 4 記憶させたい相手の電話番号 (最大24桁) を押します。



- 5 **保留** ボタンを押します。



i ランプが早い点滅となります。



- 6 **i** ボタンを押します。



i ランプが消えます。

次ページへつづく

5. 外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルを登録するとき

補足説明

- 短縮番号は、初期設定でシステム短縮00～79、電話機短縮“80～99”となっています。
- 短縮ダイヤルのメモリ数を変更したいとき使用可能なメモリ数は下記のとおりです。

	システム短縮 (短縮ダイヤルNO.)	電話機短縮 (短縮ダイヤルNO.)
メモリ数	80 (00～79)	20 (80～99)
	500 (000～499)	10 (80～89)
	1000 (000～999)	0

- 相手番号として短縮ダイヤルに登録できるもの（詳しい使い方については、販売店にお問い合わせください。）

項目	記憶させるボタン	LCD表示	記 事
ダイヤル0～9, *, #	0～9, *, #	0～9, *, #	
ポーズ	再発信	P	ポーズ時間
トーン切替 (ダイヤル回線のと)	#	#	
ハイフン “-” 表示	代理応答	-	代理応答の位置のボタン (※1)
グループ1の外線を自動捕捉	短縮+#+1	M#1	ダイヤル3個分 (※2, 3)
グループ2の外線を自動捕捉	短縮+#+2	M#2	ダイヤル3個分 (※2, 3)
グループ3の外線を自動捕捉	短縮+#+3	M#3	ダイヤル3個分 (※2, 3)
グループ4の外線を自動捕捉	短縮+#+4	M#4	ダイヤル3個分 (※2, 3)
グループ5の外線を自動捕捉	短縮+#+5	M#5	ダイヤル3個分 (※2, 3)
グループ6の外線を自動捕捉	短縮+#+6	M#6	ダイヤル3個分 (※2, 3)
ワンタッチチェーンダイヤル	短縮+XX (X) 短ダ番号	MXX (X)	ワンタッチチェーンダイヤル機能参照 (P34)

- ※1：PBXにGiシリーズが接続されていて短縮ダイヤルに、PBXの内線番号を登録する場合などは、先頭に「代理応答」ボタンを登録させます。通常は表示されませんが、ワンタッチチェーンダイヤルの中に登録された短縮ダイヤルの場合は表示されます。(ダイヤル1個分)
- ※2：先頭に登録した場合のみ有効です。
- ※3：グループとは複数の外線を1つにまとめることをいいます。尚、使用方法につきましては、販売店にお問い合わせください。

ご注意

- 転送電話の場合は、「短縮」ボタンによるワンタッチチェーンダイヤルの短縮ダイヤルは使用できません。
- トーン切替は1桁目に登録しても無効です。2桁目以降に登録してください。

知っている便利なこと

- 連続して登録するときは、③～⑤を繰り返して行ないます。
- 短縮番号の相手先を変更するときは、変更したい短縮番号の上から③～⑤の操作を行います。(後から登録した番号にかわります。)
- 登録されている番号を消す場合は、③の後に「フック」ボタンを押します。
- 別の短縮番号の内容を確認したい場合は、③の後に短縮番号を1つずつプラス/マイナスして確認できます。(「外線1」=マイナス, 「外線2」=プラス)

5. 外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルの相手先名称の登録方法

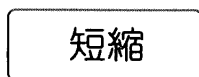
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
—	0 (システム短縮)	—	—



- ① 送受器を置いたまま **i** ボタンを押します。
(スピーカランプも消えていること)



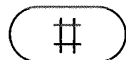
i ランプが点灯します。



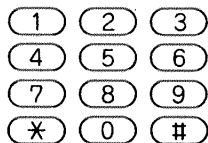
- ② **短縮** ボタンを押します。



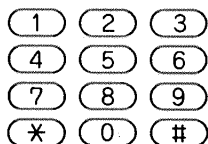
i ランプが遅い点滅になります。



- ③ **#** ボタンを押します。



- ④ 短縮番号 (2桁又は3桁) を押します。



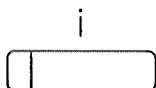
- ⑤ ダイヤルで名称 (カナ文字) を設定します。
(システム短縮は最大12文字, 電話機短縮は最大7文字)



- ⑥ **保留** ボタンを押します。



i ランプが早い点滅になります。



- ⑦ **i** ボタンを押します。



i ランプが消えます。

次ページへつづく

5. 外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルの相手先名称の登録方法

補足説明

- ダイヤルとカナ文字の対応を以下に示します。
文字の選択は対応のダイヤルボタンを1回押すたびに表示文字が変わります。

表示文字一覧表

回数 ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	Q	Z	1
2	カ	キ	ク	ケ	コ	ウ	A	B	C	2
3	サ	シ	ス	セ	ソ	エ	D	E	F	3
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ヤ	G	H	I	4
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ユ	J	K	L	5
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ヨ	M	N	O	6
7	マ	ミ	ム	メ	モ	ツ	P	R	S	7
8	ヤ	ユ	ヨ	ー	：	／	T	U	V	8
9	ラ	リ	ル	レ	□	SP	W	X	Y	9
0	ワ	ヲ	ン	・	°	オ	=	*	#	0
*	カーソル左に移動									
#	カーソル右に移動									

SP：スペース

- システム短縮は指定電話機からのみ、電話機短縮は各電話機ごとに行ないます。

ご注意

- 名称は1文字ずつ表示を見ながら設定してください。

知っていると便利なこと

- 連続して登録する時は、④～⑥を繰り返して行ないます。
- 相手先名称を変更する時は、④～⑥を操作し直してください。
- 登録されている名称を消去する場合は、⑤で「フック」ボタンを押します。
- 別の短縮番号の内容を確認したい場合は、④の後に短縮番号を1つずつプラス／マイナスして確認できます。（「外線1」＝マイナス，「外線2」＝プラス）